

平成29年度 韓国市場 訪日プロモーション方針

<訪日数>

・2016年:509.03万人(対前年比27.2%増) ※2016年訪日数2,404万人のうち約21.2%(訪日数 第2位の市場)

<市場特性>

- ・主な国外旅行シーズン:12月下旬~2月までの冬期休暇・旧正月、7月中旬~8月の夏季休暇時期
※ただし、距離的に近接している国であるため、年間を通じて訪日需要は高い。
- ・主な訪問国・地域(2015年):1位中国、2位日本、3位アメリカ、4位タイ、5位フィリピン(日本のシェア約20.7%)
- ・主な日本の訪問地(2016年):大阪、東京、沖縄、福岡、北海道

<平成29年度プロモーション基本方針>

地方空港への直行便の多さを活用して地方の魅力を継続的に発信する。特に、関西・九州・沖縄等、西日本の人気が高い傾向があることから、西日本において訪問シェアの比較的低い中国・四国地方を重点的にプロモーションし、需要の底上げを図る。更に、利用者数が多い関西便を活用して大阪プラス1の旅を提案し、関西地方周辺で訪問シェアが比較的低い地域への訪問を促進する。

また、日本側の閑散期であり、かつ韓国における国外旅行のハイシーズンである1~2月に向けたプロモーションを強化する。

<平成29年度の主な旅行博等(予定)>

6月中旬:ハナツアー旅行博覧会(ソウル)、9月中旬:釜山国際観光展(BITF)

10月末~11月上旬:モドゥツアー国際旅行博覧会(ソウル)

<主要ターゲット>

①20~30代若者層

訴求テーマ:

LCCを利用した気軽な旅、SNS映えする旅

②家族層

訴求テーマ:

ドライブ、体験型観光、親孝行旅

③50~60代余裕層(潜在層)

訴求テーマ:

アウトドアスポーツ(トレッキング、ゴルフ等)、温泉、自然景観

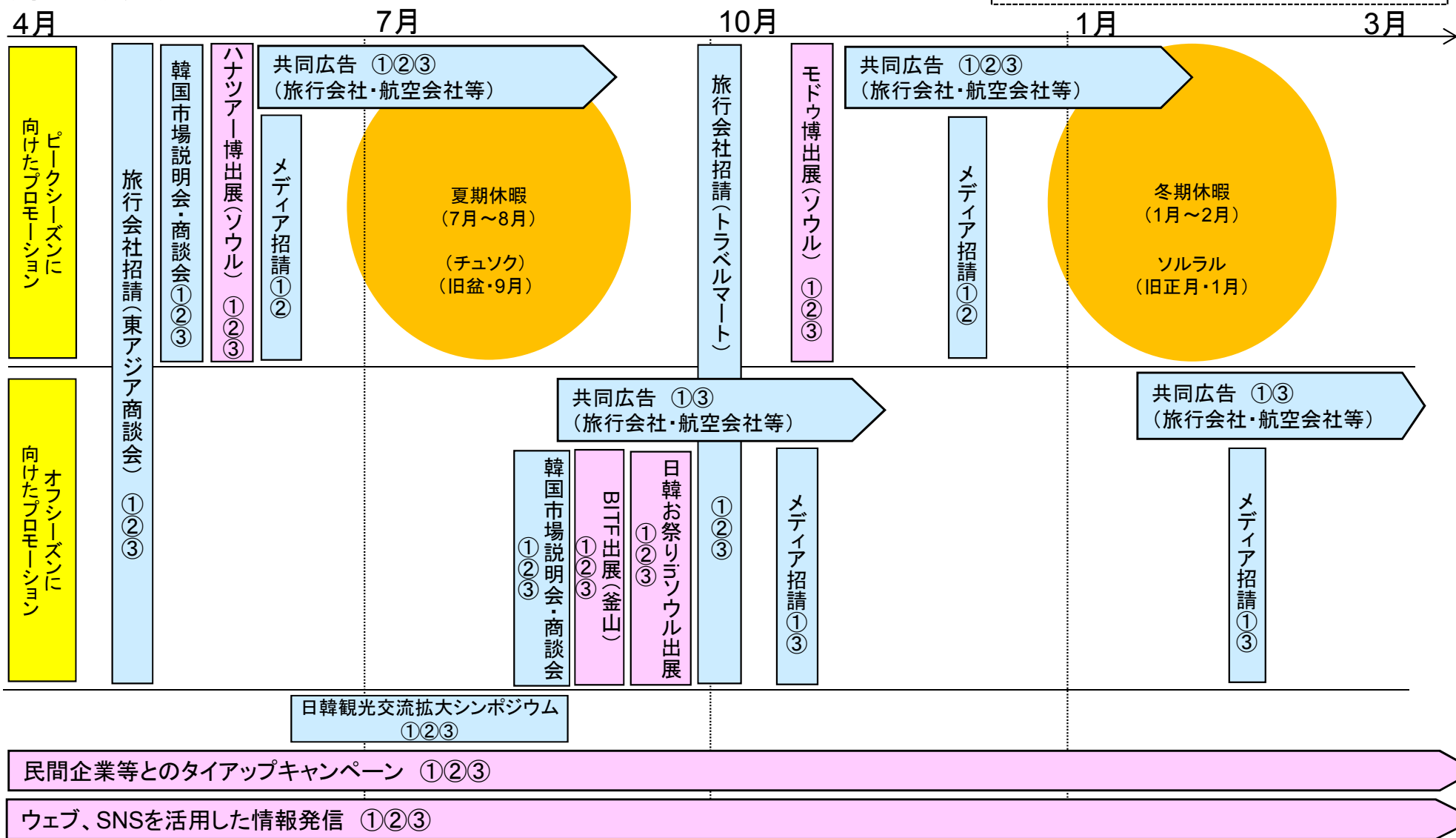
平成29年度 韓国市場 訪日プロモーション方針

- 重点デスティネーションである中国・四国地方の定着化とともに、大阪を基点として関西で訪問シェアの低い地域への誘客を促進する。
- ピークシーズンを中心にしつつ、オフシーズンにおいても共同広告等切れ目のないプロモーションを実施する。
- 年間を通して、ウェブ・SNS等における情報発信やキャンペーンを積極的に展開する。

〈事業概要〉

■ ...BtoB(事業者向け) □ ...BtoC(一般消費者向け)

＜主要ターゲット層＞
①20~30代若者層 ②家族層 ③50~60代余裕層

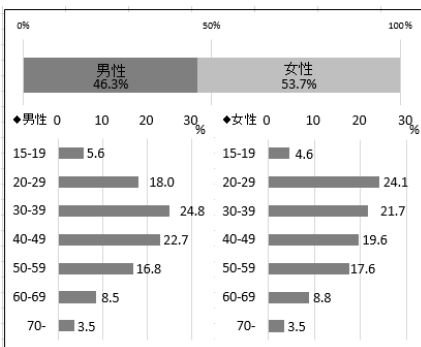


- ・観光目的/業務目的割合: 観光78.1%、商用・その他21.9%
- ※東アジア平均(観光79.3%、商用・その他20.7%)、全市場平均(観光72.7%、商用・その他27.3%)
(以下は観光目的のみの数値)
- ・個人/団体割合: 個人87.8%、団体12.2% ※東アジア平均(個人70.7%、団体29.3%)、全市場平均(個人74.0%、団体26.0%)
- ・リピーター率 : 61.5% ※東アジア平均58.7%、全市場平均55.1%
- ・平均宿泊数 : 3.3泊 ※東アジア平均5.0泊、全市場平均6.0泊

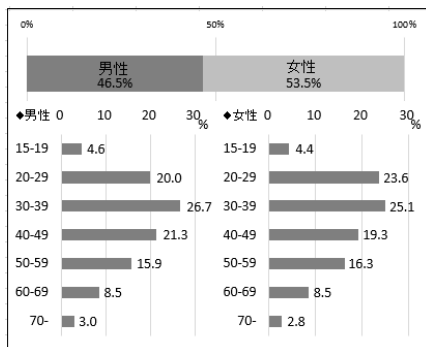
※出典: 2016年訪日外国人消費動向調査(平均値は国籍・地域別訪日外客数をウェイトとする加重平均)

性別年代割合

韓国

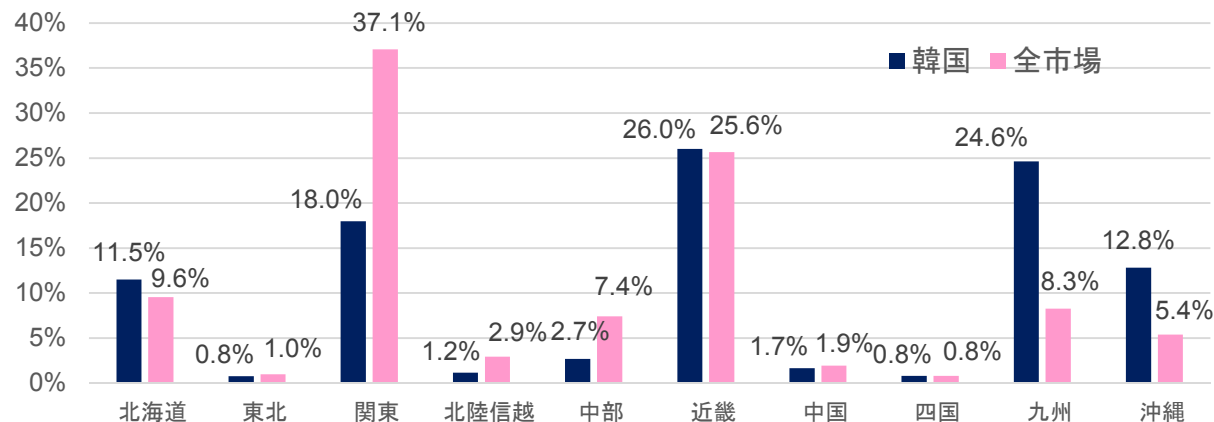


全市場



出典: 2015年法務省出入国管理統計

ブロック別外国人宿泊統計



出典: 2016年宿泊旅行統計調査

直行便の就航都市

<2017年夏期>

日本側の就航都市(計23都市)

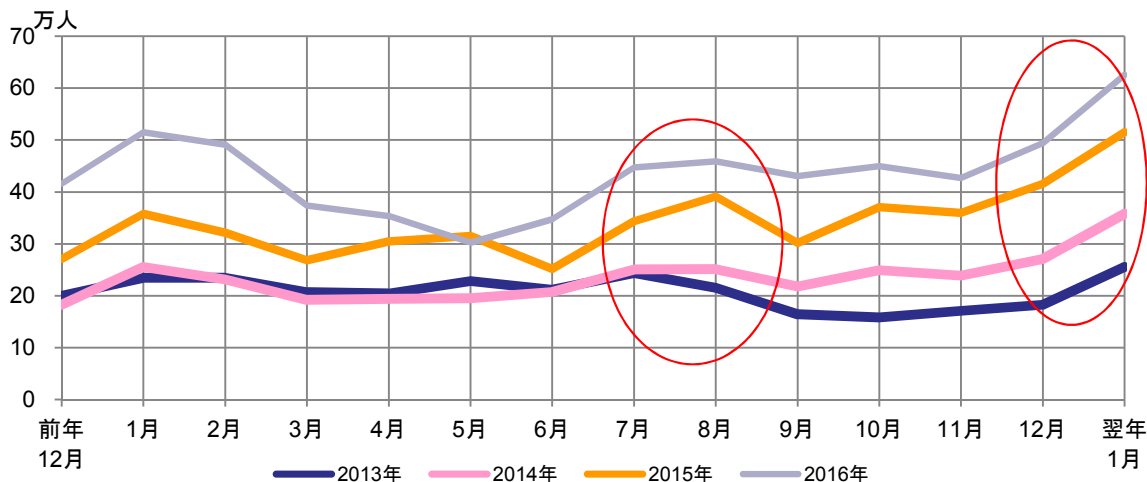
- ・成田・羽田・関西・中部
- ・福岡・新千歳・青森・仙台
- ・新潟・富山・小松・静岡
- ・岡山・広島・米子・高松
- ・北九州・大分・佐賀・宮崎
- ・鹿児島・長崎・那覇

韓国側の就航都市(計4都市)

- ・ソウル(仁川、金浦)・釜山
- ・大邱・済州

※2017年夏期期首ダイヤに基づき観光庁集計(2017年4月1日時点)

月別訪日数の推移



2017年の主な休暇

- 1月1日(日): 新正月
- 1月27日(金)~1月30日(月): ソルラル(旧正月)
- 3月1日(水): 独立運動記念日
- 5月3日(水): 釈迦誕生日
- 5月5日(金): こどもの日
- 5月9日(火): 大統領選挙日(臨時休日)
- 6月6日(火): 顕忠日
- 8月15日(火): 光復節
- 10月3日(火): 開天節(建国記念日)
- 10月3日(火)~10月6日(金): チュソク(旧盆: 旧暦8月15日)
- 10月9日(月): ハングルの日
- 12月20日(水): 12月25日(月): クリスマス
- ※小・中学校休暇(7月~8月末、12月末~2月)